

お薬手帳とジェネリック医薬品を積極的に利用して



みなさんと健保の負担するお薬代を節約しましょう!!

節約
その1

病院や薬局に行くときは、「お薬手帳」をいつも持参しましょう!!

過去6ヵ月以内に利用した保険薬局であれば、お薬手帳の提示で処方箋1枚につき薬代が**40円(3割負担の場合)安くなります**。初めて利用する薬局では安くないので、かかりつけ薬局を1カ所に決めて、いつも持参することが薬代を節約するポイントです。

節約
その2

ジェネリック医薬品を利用しましょう!!



ジェネリック医薬品ってどんな薬?

医師が処方する薬には、新薬(先発医薬品)とジェネリック医薬品(後発医薬品)の2種類があります。新薬の特許期間が切れた後に、新薬と同じ有効成分を使用し、効き目・安全性が新薬と同等であることを国が厳しく審査し、承認された医薬品です。



ジェネリック医薬品を使用するメリットは?

お薬代が新薬に比べ3割から5割安くなります。長期間の服用が必要な方ほど節約効果は増大です。また、年々増加を続ける国の医療費節減になり、それに伴って健康保険料の上昇を抑えることができます。



ジェネリック医薬品の普及率は?

日本ではまだ59%(2016年度)しか普及していませんが、世界では一般的なお薬。WHO(世界保健機構)も使用推進を提唱しています。医療先進国の普及率はアメリカ92%、ドイツ86%、イギリス77%、フランス68%です。日本でも少子高齢化で増え続けている医療費を抑えるために、2020年9月までに普及率80%以上にする取り組みが進んでいます。



ジェネリック医薬品を試してみようかな?

薬局で「ジェネリックにできますか?」とご相談ください。
右下のシール『ジェネリックを希望します』を保険証・診察券・お薬手帳に貼っておけば言い忘れがなく切り替えがスムーズです。ぜひご利用ください!!

(貼り方の例)

